



# 自分の思いや考えをもち、伝え合い、 高め合う子どもの育成をめざして

～平成17年度から継続してきた研究～

『「いのち」輝く子どもの育成』は寒河江小学校の学校教育目標です。未来を担う子どもたちの育成のために、今日的課題を見据えながら日々の教育活動を邁進しています。

寒河江市立寒河江小学校

## 研究主題「自分の思いや考えをもち、伝え合い、高め合う子どもの育成をめざして」

子どもたちがこれからの社会を豊かに生きていくためには、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」が調和した「生きる力」を育まなければいけません。「生きる力」は学校生活や家庭生活などで、様々な人との関わりの中で成長していきます。自分の思いや考えを言葉で相手に伝えると同時に、相手の立場を思いやりながら他の考えを受け入れ、温かく好ましい人間関係を築いていく力が大切です。

それを受け、学校生活の中で、子どもたちが自分の思いや考えを自分の言葉で表現し、また、友達とのやりとりを通して、相互に思いや考えを広げたり深めたりしてほしいと考えました。

そこで、人と人との伝え合いに必要な基礎的・基本的な力を国語科の学習を通して培おうと、平成17年度から本研究が始まりました。さらに、研究の中で「国語科で培ってきたものをどう生かしていけるのか」「研究の視点に沿って新たに見えてくるものは何か」などを検討し、4年前より他教科での研究も行っています。

本研究を実施、継続して今年で8年目になります。前年度の研究で明らかになった課題を次年度へ結びつけながら改善し、積み重ね、下記に示した「めざす子どもの姿」の実現に向けて進めています。

また、本研究実施と同年度の平成17年度に「全国かつ総合的な学力調査の実施に係る研究指定校」に指定されました。本研究では、学力調査の結果から見えてきた成果と課題から育てて欲しい力を明確にしながら研究に取り組んでいます。

### めざす子どもの姿

- ☆自分の思いや考えを持ち、人と積極的にかかわれる子
- ☆相手のことを考えて、自分の思いや考えを表現できる子
- ☆自分や相手のよさに気づき、互いに認め合い、高め合う子

さらに、子どもたちの発達段階を考慮した低学年、中学年、高学年におけるめざす具体像を掲げ、それらを積み重ねてめざす子ども像へ向かっていく。

高学年

相手意識・目的意識を持って効果的に考えを交流し、互いに高め合う喜びを味わえる子

中学年

進んで友達とかかわり、思いや考えを伝え合い、互いのよさを認め合う喜びを味わえる子

低学年

友達とかかわり合い、話したり聞いたりしながら、伝え合う楽しさを味わえる子



自分の思いや考えをもてるように、いろいろな視点で物事を見るような工夫をしています。



発表会では、伝え合いや話し合い、聴き合いなど、双方向の交流を図る場をつくります。

振り返りの場では、お互いを認め合うことで、学び合う楽しさを実感し、次の学習への意欲をふくらませます。

